

第1条【適用範囲】

1. 当ホテルがお客様との間で締結する宿泊約款及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

第2条【宿泊契約の申込み】

1. 当ホテルに宿泊契約の申込みをなさろうとするお客様は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. お客様が、宿泊中に前項の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

第3条【宿泊契約の成立等】

1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までにお支払いいただきます。

3. 申込金は、まず、お客様が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定に適用する事態が生じたときは、違約金について賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定により料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を、同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨をお客様に告知した場合に限ります。

第4条【申込金の支払いを要しないこととする特約】

1. 前条の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条の申込金の支払いを求めなかった場合、及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

第5条【宿泊契約締結の拒否】

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申込が、この約款によらないとき
- (2) 満室により客室の余裕がないとき
- (3) 宿泊しようとする方が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき
- (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき
 - イ. 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ. 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ. 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの

- (5) 宿泊しようとする者が泥酔者等で、他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき、及び、宿泊者が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき
- (6) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき
- (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき
- (8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき
- (9) 都道府県条例の規定する場合に該当するとき

第6条【宿泊客の契約解除権】

1. お客様は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、お客様がその責めに帰すべき事由により、宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条の規定により、当ホテルが申込金の支払期日を指定して、その支払いを求めた場合であって、その支払いより前にお客様が宿泊契約を解除したときを除きます）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、お客様が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当ホテルがお客様に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、お客様が連絡をしないで、宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は、宿泊されるお客様により解除されたものとみなし処理することがあります。

第7条【当ホテルの契約解除権】

1. 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の解除をすることがあります。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき
 - (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき
 - イ. 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ. 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ. 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき
 - (4) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき
 - (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき
 - (6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき
 - (7) 都道府県条例の規定する場合に該当するとき
 - (8) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る)に従わないとき
2. 当ホテルが、前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したとき、お客様がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

第8条【宿泊の登録】

1. お客様は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - (1) 宿泊者の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - (2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - (3) 出発日及び出発予定時刻
 - (4) その他ホテルが必要と認める事項
2. お客様が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

第9条【客室の使用期間】

- 1. お客様が、当ホテルの客室を使用できる時間は、当日15時より翌日11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

	追加時間		
	3時間まで	6時間まで	7時間以上
エコノミーツイン	6,000円	12,000円	30,000円
和モダンツイン			
スタンダードツイン			
スーペリアツイン			
デラックスツイン			
ラグジュアリーツイン	8,000円	16,000円	40,000円
和モダンファミリー			
スタンダードファミリー			
スーペリアファミリー			
ファミリースイート	24,000円	50,000円	120,000円
ジュニアスイート			
スイート			

第10条【利用規則の厳守】

1. お客様は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第11条【営業時間】

1. 当ホテルの主な施設等の営業時間は次の通りとし、その他の施設等の詳しい営業案内は、備え付けパンフレット、各所の掲示、フロントインフォメーション等でご案内いたします。

(1)フロント・キャッシャー等サービス時間

- ①フロント 24時間
- ②キャッシャー 24時間
- ③門限 なし

(2)飲食等その他施設サービス時間

サービスディレクトリーをご参照ください。

2. 前項の時間は、やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

第12条【料金の支払い】

1. お客様が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、お客様の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルがお客様に客室を提供し、使用が可能になったのち、お客様が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第13条【当ホテルの責任】

1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行にあたり、又はそれらの不履行により お客様に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときには、この限りではありません。
2. 当ホテル(館)は、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第14条【契約した客室の提供ができないときの取扱い】

1. 当ホテルは、お客様に契約した客室を提供できないときは、お客様の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料をお客様に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できない事について、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第15条【寄託物等の取扱い】

1. お客様がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価格の明告を求めた場合であって、お客様がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償いたします。
2. お客様が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であって、フロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の障害が生じたときは、当ホテルはその損害を賠償いたします。ただし、お客様からあらかじめ種類及び価格の明告のなかったものについては、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償いたします。

第16条【宿泊客の手荷物又は携帯品の保管】

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先だって当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合、又は所有者が判明しないときは、遺失物法に基づき処理します。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

第17条【駐車の実責任】

お客様が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

第18条【宿泊客の責任】

お客様の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該お客様は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

第19条【準拠法及び言語】

1. 本約款による宿泊契約及びこれに関連する契約に関して生じる一切の紛争については、専ら当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

2. 本約款は日本語と英語で作成されていますが、日本文と英文との間に不一致又は相違があるときは、すべて日本文によるものとします。

【ご利用規則】

当ホテルでは、お客様に安全でかつ快適なご滞在をいただくため、宿泊約款第10条の定めに基づき、下記の規則をお守りいただくことになっております。この規則をお守りいただけない場合は、宿泊約款第7条によりご宿泊の継続をお断りさせていただきます。また規則内の条項に該当する場合は、ホテルはいかなる責任も負いません。

1. 客室をご宿泊以外の目的でご利用されることは、固くお断り致します。また、宿泊登録者以外の方の宿泊は、堅くお断り致します。
2. 館内ご利用時は、非常口の位置、避難経路のご確認をご確認ください。
3. 館内でのタバコは、所定の喫煙所をご利用ください。
4. 喫煙室において、火災になりやすい場所（特にベッドの上など）での喫煙はご遠慮ください。
5. 客室内では当ホテルが用意したもの以外のアイロン、ヒーター、調理器等の熱を発する器具のご使用はご遠慮下さい。
6. ご滞在中お部屋から出られる際は、鍵を必ずお持ちになり、施錠を確認の上、おでかけください。ご滞在中及びご就寝の際は、ドア・ガードを必ずかけてください。
7. 訪問者があったときは、ドア・ガードをかけたままドアを開けるか、ドア・スコープでご確認ください。不審者と思われる場合は、フロントまでご連絡ください。
8. ご訪問者との客室内でのご面会をご遠慮ください。また、ホテル外からの飲食物の出前をとらないでください。
9. 廊下やロビー等に所持品を放置なさないでください。
10. 館内及び客室内の備品等を、所定の場所からみだりに移動しないでください。それによる備品等の汚損、破損、紛失はお客様のご負担となります。
11. 館内に次のようなものをお持ち込まないでください。
 - (a)愛玩動物、鳥類等（但し、盲導犬は除く）
 - (b)悪臭を発するもの
 - (c)常識的な量を超える物品

(d)許可証の無い銃砲、刀剣類

(e)発火又は引火しやすい火薬、揮発油、油類等

12. ホテル内および客室内では、大声で歌ったり騒音を立てるなど、他のお客様のご迷惑となる行為はご遠慮ください。
13. 館内及び客室内で賭博や公序良俗に反する行為をなさらないでください。
14. 館内及び客室内で許可なく他のお客様に広告物の配布や物品の販売などをなさらないでください。
15. ホテルの外観を損なうような物を窓に設置したり、窓から物を捨てたりしないでください。
16. 窓の施錠はホテルのルールに従って適切な方法で行ってください。
17. 安全面を考え、お子様の行動に充分なご配慮をお願いします。
18. 宿泊客が神経耗弱、薬品使用、飲酒による自己喪失など、宿泊しようとする者の安全確保が困難であったり、他のお客様に危険や恐怖感、不安感を及ぼすおそれがあると認められるときは、直ちにご利用をお断りいたします。
19. 現金・貴重品などはフロントまたは客室のセーフティボックス、宿泊者専用ロッカーにお預けください。室内における紛失、盗難などにつきましては、ホテルは責任を負いかねます。
20. 浴衣・サンダルやスリッパでのレストランやロビーなどの館内施設のご利用はご遠慮ください。（大浴場、プールを除く）
21. 客室内および敷地内での営利目的の写真・動画の無断撮影はご遠慮ください。

別表第1【宿泊料金等の内訳(第2条第1項及び第12条第1項関係)】

		内訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	① 基本宿泊料（室料（及び室料＋朝食等の飲食料））
	追加料金	② 追加飲食（①に含まれるものを除く）
	税金	イ. 消費税 ロ. 入湯税（温泉地のみ）

(備考)

1. 基本宿泊料は料金表によります。
2. 子供料金は小学生以下に適用します。
 - (a)大人に準じる食事と寝具等を提供する小学生：大人料金の70%
 - (b)子供用食事と寝具を提供する4歳から小学生未満：50%
 - (c)寝具のみを提供したとき：30%
 - (d)寝具及び食事を提供しない0~3歳の幼児：施設使用料をいただきません

別表第2【違約金(第6条第2項関係)】

契約解除時の通知を受けた日		不泊	当日	前日	9日前	20日前
契約申込人数						
一般	14名まで	100%	80%	20%	－	－
団体	15~99名まで	100%	80%	20%	－	－
	100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

(注意)

1. %は基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分の違約金を収受します。
3. 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申込をお引受した場合にはその引受日）における宿泊人数の10%（端数がでた場合には切り上げ）に当たる人数について違約金はいただきません。

Article 1 【Scope of Application】

- (9) The Accommodation Contract and related contracts to be concluded between our Hotel and the Guest shall be based on this Contract under the following terms and conditions of our Contract. Any matter not stipulated in this Contract shall be governed by ordinance and generally established practice.
- (10) When our Hotel has agreed to conclude a Special Contract without conflicting with ordinance and established practice, the said Special Contract shall prevail.

Article 2 【Application for an Accommodation Contract】

3. The Guest who intends to apply to our Hotel for an Accommodation Contract will be required to provide our Hotel with the following particulars:
- (1) Name(s) of Guest(s) to be registered.
 - (2) Date(s) scheduled for overnight stay and estimated time of arrival.
 - (3) Accommodation charge (according, in principle, to the basic accommodation charges described in the attached Table 1).
 - (4) Other information considered necessary by our Hotel.
4. In the case that the Guest has requested, during his/her stay, an extension of an overnight stay beyond the date described in the preceding Paragraph (2) above, our Hotel (Ryokan) shall handle his/her request as a new application for an Accommodation Contract which has been made at the point in time when the said request has been made.

Article 3 【Conclusion, etc. of the Accommodation Contract】

- (3) The Accommodation Contract shall be considered to have been concluded at the time when our Hotel has accepted the application described in the preceding A

rticle, unless our Hotel has certified that our Hotel (Ryokan) has not accepted the said application.

- (4) When the Accommodation Contract has been concluded under the provision of the preceding Paragraph, the Application Money payable for the period scheduled for overnight stay as prescribed by our Hotel (Ryokan) shall be paid by the date set by us, up to the maximum amount equal to the basic accommodation charge for 3 days in cases where the period scheduled for overnight stay exceeds 3 days.
- (5) The Application Money shall first be applied to the final payment of the Accommodation Charge payable, and when the circumstances requiring application of the provisions of Article 6 and Article 18 have arisen, to penalty and then to compensation money in this order. If there is any balance left it will be repaid at the time when the Accommodation Charge is paid as provided in Article 12.
- (6) In the case that the Application Money described in Paragraph 2 of this Article has not been paid by the date set by us as stipulated in the same Paragraph, the Accommodation Contract shall become invalid, but limited only to the case where our Hotel has notified the Guest to that effect at the time when prescribing the day due for payment of the Application Money.

Article 4 **【Special Contract Requiring Non-Payment of the Application Money】**

3. Notwithstanding the provision of the preceding Article, Paragraph 2, there are cases where our Hotel accepts a Special Contract which does not require payment of the Application Money specified in the said Paragraph after the conclusion of the Contract.
4. When accepting an application for an Accommodation Contract, in the case that our Hotel fails to request payment of the Application Money specified in the preceding Article, Paragraph 2, and/or in the case that it fails to prescribe the due date for payment of the said Application Money, the Special Contract

described in the preceding Paragraph shall be considered to have been accepted.

Article 5 【Refusal of the Conclusion of the Accommodation Contract】

(10) The following are cases where our Hotel will not accept the conclusion of the Accommodation Contract:

3. When application for accommodation is not based on this Contract.
4. When there is no room available due to full occupancy.
5. When the Guest seeking accommodation is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals.
6. When the Guest seeking accommodation is considered to be corresponding to the following (a) to (c).
 3. The law in respect to prevention, etc. against illegal actions by gang members (1991 Law item 77) stipulated article 2 item 2 (hereinafter referred to as “gang group” .), gang member stipulated by the same law article 2 item 6 (hereinafter referred to as “gang member.”), gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces.
 4. When gang groups or gang members are associates of corporations or other bodies to control business activities.
 5. When a corporate body has related persons to gang members.
- (5) When the guest seeking accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.
- (6) When the Guest seeking accommodation is clearly considered to be a patient with an infectious disease.
- (7) When the guest is seeking accommodation, a violent requesting act is carried out, or demands a burden beyond the reasonable purview.

- (8) When an act of God, trouble with facilities, and other unavoidable causes prevent the Guest from staying at our Hotel.
- (9) When the provision of the Ordinance issued by the Prefecture is applicable.

Article 6 【The Guest's Right to Cancel the Contract】

- 2. The Guest may request our Hotel to cancel the Accommodation Contract.
- 3. In the case that the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes attributable to him/her (which is the case when our Hotel has requested payment of the Application Money by prescribing the date due for such payment under the provision of Article 3, Paragraph 2, except in the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract prior to such payment), payment of penalty shall be required as specified in the attached Table 2, but in the case that our Hotel has accepted a Special Contract described in Article 4, Paragraph 1 this provision shall be applied only to the case where our Hotel has notified the Guest of his/her responsibility to pay a penalty for cancellation of the Contract when accepting the Special Contract.
- 4. In the case that the Guest does not arrive by 8pm on the day of an overnight stay without informing our Hotel of a delay (or after 2 hours past the scheduled time of arrival if indicated by the Guest beforehand), the Accommodation Contract concerned may be considered to have been cancelled by the Guest and will be handled accordingly.

Article 7 【The Right of Our Hotel (Ryokan) to Cancel the Contract】

- 4. The following are cases where our Hotel may cancel the Accommodation Contract:

- (5) When the Guest is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals, or he/she is considered to have behaved in such a manner.
 - (6) When the Guest is clearly considered to be corresponding to the following (a) to (c).
 - 4. Gang group, gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces.
 - 5. When a corporate body or other organisation where gang groups or gang members control business activities.
 - 6. In a corporate body which has persons relevant to gang members in its board members.
 - (3) When the Guest in accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.
 - (4) When the Guest is clearly considered to be a patient with an infectious disease.
 - (5) When having accommodation, a violent action is carried out, or demands a burden beyond reasonable purview.
 - (6) When unavoidable causes, such as acts of God, etc., prevent the Guest from staying at our Hotel.
 - (7) When the provision of the Ordinance issued by the Prefecture is applicable.
 - (8) When the Guest smokes in bed or vandalises fire protection facilities, or does not comply with the matters prohibited by our Hotel (limited only to those matters necessary for fire prevention) among the rules of use prescribed by our Hotel.
5. In cases where our Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the provision of the preceding Paragraph, charges for accommodation service, etc. which have not yet been offered to the Guest shall not be receivable.

Article 8 【Registration of Accommodation】

1. The Guest will be required to register the following particulars at the front desk of our Hotel:
 3. Name, age, sex, address and occupation of the Guest.
 4. Nationality, passport number, place entered and date entered, in the case of a foreign guest.
 5. Scheduled date and time of departure.
 6. Other particulars considered necessary by our Hotel.
2. In the case that the Guest intends to pay the charges described in Article 12 by using such means in place of currency as traveller's checks, accommodation coupons, credit card, etc., he/she will be required to show them at the time of registration described in the preceding Paragraph.

Article 9 【Time Allowed for Use of the Guest room】

3. The time allowed for the Guest to use the guest room of our Hotel shall be from p.m. till a.m. of the following morning, except when the Guest stays for more than one night in succession, in which case the Guest may use the guest room all day except the day of arrival and the day of departure.
4. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, there are cases where our Hotel may accept the use of the guest room in hours other than those specified in the preceding Paragraph, in which case an additional charge will be required as specified below.

	Extension time		
	Up to 3 hours	Up to 6 hours	More than 6 hours
Economy Twin room	6,000円	12,000円	30,000円
Wa - Modern Twin room			
Standard Twin room			
Superior Twin room			
Deluxe Twin room			
Luxury Twin room	8,000円	16,000円	40,000円
Wa- Modern Family room			
Standard Twin Family room			
Superior Family room			
Family Suite room	24,000円	50,000円	120,000円
Junior Suite room			
Suite room			

Article 10 【Compliance of the Rules of Use of the Hotel】

While staying in our Hotel, the Guest will be required to comply with the Rules of Use posted inside our Hotel as prescribed by us.

Article 11 【 Business Hours】

3. The business hours of principal facilities in our Hotel shall be as follows. Details of the service hours of other facilities are explained in the pamphlet provided, displays at major points inside our Hotel, and the service directory provided in each guest room.

(1) Service Hours of Front Desk, Cashier, etc.

(5) Front Desk: 24 hours

(6) Cashier: 24 hours

(7) Curfew: 24 hours

(2) Service Hours for dining, drinking, etc.

Please refer to the Service Directory.

4. The service hours described in the preceding Paragraph may be changed temporarily for unavoidable reasons, in which case the Guest will be notified by proper means.

Article 12 【Payment of Charges】

3. The breakdown of the accommodation charge, etc. payable by the Guest shall be as listed in the attached Table 1.
4. Payment of the accommodation charges, etc. described in the preceding Paragraph shall be made in currency or by other alternative means acceptable by our Hotel, such as traveller's check, accommodation coupon, credit card, etc., at the front desk at the time when the Guest departs from our Hotel or is charged by our Hotel.
5. In the case that the Guest has not stayed at our Hotel at his/her discretion even after we have offered the guest room to the Guest and made it available for him/her to use, the accommodation charge will still be charged.

Article 13 【Responsibility of Our Hotel】

3. In the case that we have inflicted damage on the Guest in the course of fulfilling the Accommodation Contract and related Contracts or in breach of these Contracts, we shall compensate for the said damage, unless the said damage has been caused due to a cause not attributable to us.
4. Our Hotel is covered by the Hotel liability insurance to cope with emergencies in the case of fire, etc.

Article 14 【Handling In Case the Guest Room Contracted Is Not Available】

22. Should the guest room contracted for the Guest under the Accommodation Contract become unavailable for him/her, our Hotel shall try to offer other accommodation facilities under the same conditions as the original Accommodation Contract as far as possible, subject to the consent of the Guest concerned.
23. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, in cases where we are unable to offer other accommodation facilities to the Guest, we shall pay to him/her a compensation charge equivalent to the penalty, which will be applied to the amount of the compensable damage. However, in cases where there is no cause attributable to us for not being able to offer the guest room, we shall not pay the compensation charge.

Article 15 【Handling of Checked Articles, etc.】

4. When the articles, cash and/or valuables checked by the Guest at the front desk have been lost or damaged, our Hotel shall compensate for the damage, unless the loss or damage has been caused by force de majeure. However, in the case of cash and valuables, we shall do so only when the Guest has clearly reported the kind and value of such cash and valuables at our request.

Otherwise we shall compensate for the damage up to the maximum amount of 150,000 yen.

5. When the Guest has brought into our Hotel articles, cash and/or valuables but has not checked them at the front desk, we shall compensate for the loss or damage inflicted on them if caused intentionally or negligently on our part, except when the Guest has not clearly reported to us beforehand the kind and value of such items lost or damaged, in which case we shall compensate for the loss or damage up to the maximum amount of 150,000 yen unless we are intentionally or negligently responsible for such loss or damage.

Article 16 **【Custody of the Baggage or Personal Belongings of the Guest】**

3. When the baggage of the Guest has arrived at our Hotel prior to his/her arrival, our Hotel will keep it subject to our agreement given prior to its arrival, and will hand it to the Guest at the time when he/she checks in at the front desk.
4. In the case that the baggage or personal belongings of the Guest are found misplaced after he/she has checked out, our Hotel shall ask the owner of such items for his/her instructions when the owner has been identified. However, when there are no instructions from the owner or the owner has not been identified, the Hotel shall handle it according to the Lost Goods Act.
5. The responsibility of our Hotel regarding the custody of the Guest's baggage or personal belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall conform to the provision of the preceding Article, Paragraph 1, in the case of Paragraph 1 of this Article and to the provision of the preceding Article, Paragraph 2, in the case of the preceding Paragraph 2.

Article 17 【Responsibility for Parking】

1. When the Guest uses the parking area of our Hotel, our Hotel only lends the parking area and does not assume responsibility for care and custody of the vehicle parked, regardless of whether or not our Hotel has been asked to keep the key to the vehicle. However, our Hotel shall be liable for compensation if and when the vehicle parked is damaged intentionally or negligently on our side while keeping the parking area under our control.

Article 18 【Responsibility of the Guest】

5. In the case that our Hotel has suffered damage due to the intention or fault of the Guest, the Guest will be required to compensate our Hotel for the said damage.

Article 19 【Governing Law and Language】

3. Litigation arising from the Terms & Conditions for Accommodation Contract will be resolved in the courts in the jurisdiction of the Hotel and in accordance with Japanese law.
4. These terms are provided in both Japanese and English. In case of a discrepancy between the Japanese and the English, the Japanese version will take precedence.

【Rules for Use of Hotel Facilities】

To ensure a safe and pleasant stay with us, please observe the following rules. Failure to do so will mean that the Guest is no longer permitted to use an

y of the Hotel facilities, in accordance with the General Conditions for Accommodation.

- (e) Please do not use the guest room for any purpose other than lodging. Accommodation by anyone other than the registered guest is strictly prohibited.
- (f) When using the facility, please check the location of emergency exits and evacuation routes.
- (g) When smoking, please use the designated smoking area.
- (h) In the smoking room, please do not smoke in areas where there is a risk of fire (especially on the bed).
- (i) Except for those provided by the hotel, please do not use irons, heaters, cookers or any heat-generating appliances in the room.
- (j) Please ensure that your doors are kept locked when you are leaving the room. When you are in the room or sleeping, it is recommended to lock the door from inside or to use the chain lock.
- (k) If any visitors, please open the door with the door guard on or check with a door scope. If any suspicious person, please contact the front desk.
- (l) Please do not bring visitors inside the Guest room or order meal deliveries from outside the Hotel.
- (m) Please do not leave your belongings in the hallways or lobby.
- (n) Please do not move equipment, furnishings and so forth inside the Hotel or Guest room to different places. In case of soiling, damage or loss, Guests will be asked to pay the costs.
- (o) Please do not bring any of the followings into the Hotel or Guest room:
 - (a) Dogs, cats, birds or other animals or pets
 - (b) Foul-smelling items
 - (c) Unusually large quantities of goods
 - (d) Illegal firearms, swords, and drugs
 - (e) Gunpowder, gasoline or other ignitable or inflammable substances

- (p) Please do not shout, sing loudly, make noise or commit other behaviours inside the Hotel or inside the Guest rooms which will disturb or offend other Guests.
- (q) Gambling, acts injurious to public morals, and acts that violate public order are strictly prohibited in the corridors or inside the Guest room.
- (r) Please do not distribute advertising material to other Guests inside the Hotel.
- (s) Please do not place anything at windows that detracts from the external appearance of the Hotel or dispose of anything from windows.
- (t) Please lock and unlock windows in an appropriate manner according to hotel rules.
- (u) For safety reasons, please keep an eye on your child's activities.
- (v) The Hotel refuses to provide any service immediately to a guest if it is found difficult for him/her to secure his/her own safety, due to diminished capacity, loss of sanity caused by use of drugs or drinking, or if it is considered that he/she may cause other guests to have sense of danger, fear or anxiety.
- (w) Please leave your valuables at Front desk during your stay. In any case that valuables kept in the Guest room are lost or stolen, the Hotel will assume no responsibility in any way.
- (x) It is prohibited to walk around inside the hotel wearing only pyjamas, underwear, slippers. (excluding hot spring and pool area)
- (y) Please do not take photographs or video recordings for commercial purposes inside the Guest room or the grounds without permission.

Table 1 Breakdown of Accommodation Charge (concerning Article 2-1 and 12-1)

		Breakdown
Total amount to be paid by a guest	Tax Accommodation charge	(1) Basic accommodation charge (Room charge or Room charge plus meal & beverage charge such as for breakfast)
	Additional charges	(2) Additional food and beverage charge (except for those included in (1))
	Tax	a. Consumption tax b. Bath tax (at hot spring resorts only)

Remarks:

4. The basic accommodation charge is based on the table of charge.
5. The charge for a child 12 years old or younger is as follows:
 - (f) If a child takes meals and uses bedding on the same basis as an adult: 70% of the adult's charge
 - (g) If a child takes special meals and uses bedding for children : 50% of the adult's charge
 - (h) If a child only uses bedding: 30% of the adult's charge
 - (i) If a child (0 - 3 year old) does not take any meals or use bedding : No charge

Table 2 Penalty (concerning Article 6-2)for Hotels

	No Show	Check-in day	1 day pri or Check- in	9 days pr ior Check -in	20 days p rior Chec k-in
Individual Gue st (from 1 to 14)	100%	80%	20%	Free of c harge	Free of c harge
Group Guests (from 15 to 9 9)	100%	80%	20%	Free of c harge	Free of c harge
Group Guests (100 or more)	100%	100%	80%	20%	10%

Note:

3. The percentage is the percentage of the Penalty against the Basic Accommodation Charge.
4. In the case that the number of days for accommodation has been reduced, Penalty for One Day (first day) shall be charged, regardless of the number of days reduced.
5. In the case that the Accommodation Contract has been cancelled for a part of the Group (consisting of 15 members or more), the Penalty charged shall be for the number of the Group members equal to 10% (a fraction to be evened up) of the total number of the Group members booked for accommodation as of 10 days prior to the first day of occupancy (or the day when the Accommodation Contract has been accepted in less than 10 days prior to the first day of occupancy).